

## 【学校園・地域学校協働活動推進員等・市町村教育委員会共通調査】

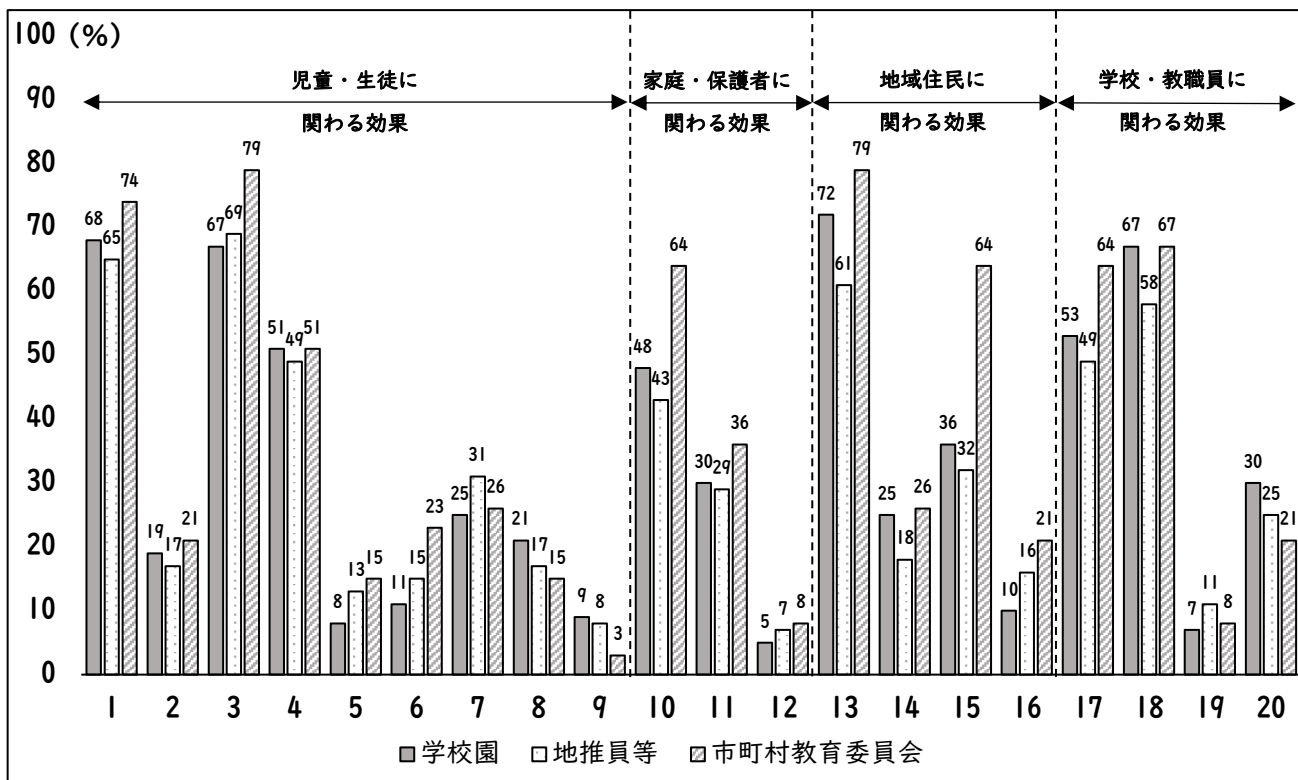
令和4年度「地域と共にある学校づくり」に関するアンケート調査結果

### 地域学校協働活動の効果について

回答数 学校園・・・225校園 地推員等・・・194人 市町村教育委員会・・・39市町村※  
 (※奈良市は除く 式下中学校組合は含む)

#### 学校園・地推員等・市町村教育委員会の比較

#### 実施効果について

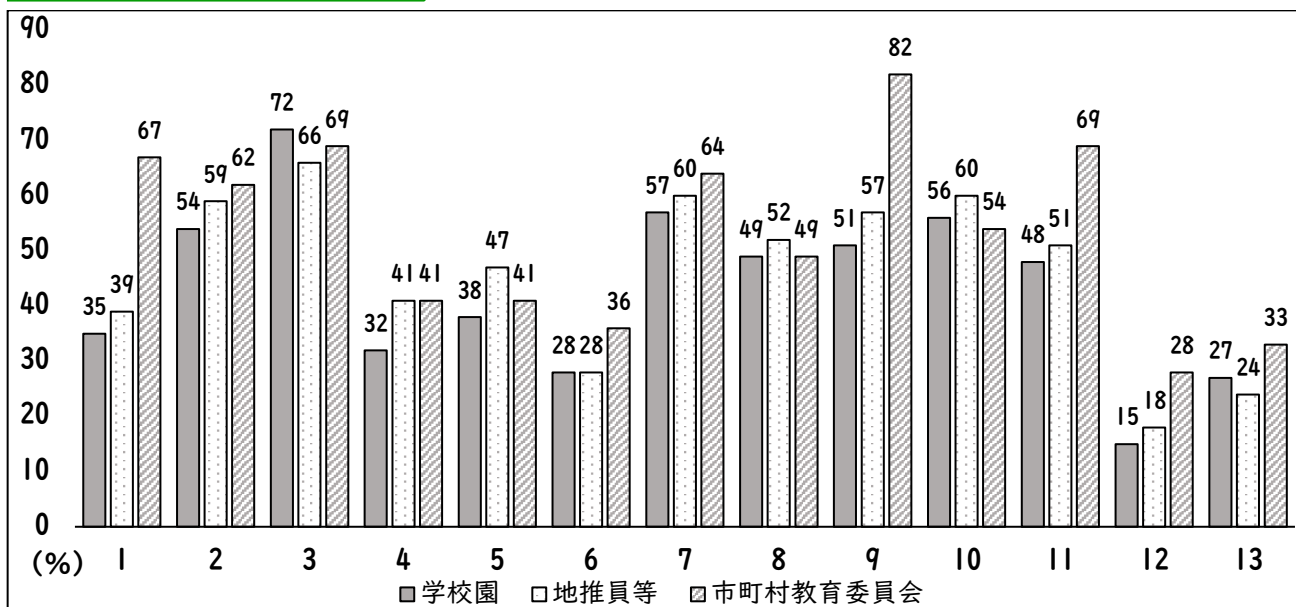


1. 子どもの学習に対する興味・関心や意欲の向上	11. ボランティアへの保護者の参加者数の増加
2. 子どもの学習習慣の改善	12. 家庭の教育力の向上
3. 子どもがあいさつを積極的に行うこと	13. 地域住民の学校に対する理解の深化
4. 子どもたちのコミュニケーション力の向上	14. 地域の教育力の向上
5. 子どもが自らを律し、進んでいきまりを守ること	15. 地域住民の生きがいづくりや自己実現
6. 子どもがリーダーシップを発揮する場面が増えること	16. 地域住民による地域課題の解決に向けての活動
7. 子ども自身が率先して、人のために行動ができること	17. ボランティアが学習支援を行うことによる教育内容の充実
8. 部活動における技術の向上(中学校・義務教育学校・高等学校のみ)	18. 子どもたちの通学時の交通安全、防犯体制の充実
9. 部活動における参加率の向上(中学校・義務教育学校・高等学校のみ)	19. 子どもたちの問題行動や不登校の減少
10. 保護者の学校に対する理解の深化	20. 教職員が子どもと向き合う時間の増加

学校園、地推員等、市町村教育委員会がともに効果を感じている内容は、以下の通りです。

【児童・生徒に関わる効果】	「子どもの学習に対する興味・関心や意欲の向上」 「子どもがあいさつを積極的に行うこと」
【家庭・保護者に関わる効果】	「保護者の学校に対する理解の深化」
【地域住民に関わる効果】	「地域住民の学校に対する理解の深化」
【学校・教職員に関わる効果】	「ボランティアが学習支援を行うことによる教育内容の充実」 「子どもたちの通学時の交通安全、防犯体制の充実」

## 効果を生み出す要素について



- |                                  |                              |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 地域学校協働本部における熟議                | 8. 地推員等とボランティアとの円滑なコミュニケーション |
| 2. 学校がボランティアに期待する活動内容の明確化        | 9. 教職員の理解と協力                 |
| 3. 学校が望むボランティアの確保                | 10. PTAの理解と協力                |
| 4. ボランティアの力量や意欲                  | 11. 地域住民組織等の理解と協力            |
| 5. 活動内容がボランティアの特技や経験を活かしたものであること | 12. 本事業の活動場所を学校内に設置          |
| 6. 地推員等の力量や意欲の向上                 | 13. 地域の教育力の向上                |
| 7. 地推員等と学校との円滑なコミュニケーション         |                              |

地域学校協働活動の実施による効果を生み出すためには「学校が望むボランティアの確保」や「地推員等と学校との円滑なコミュニケーション」が必要であると感じている学校園、地推員等、市町村教育委員会の割合が高くなっています。

市町村教育委員会では、「地域学校協働本部における熟議」、「教職員の理解と協力」、「地域住民組織等の理解と協力」の割合が、学校園と地推員等の割合に比べると特に高くなっています。

多くの学校において、様々な学習支援や登下校の見守り活動が実施されており、本アンケートにおいても「子どもの学習に対する興味関心や意欲の向上」や「子どもがあいさつを積極的に行うこと」に効果を感じている学校園、地推員等、市町村教育委員会が多いです。また、地域学校協働活動の実施により「教職員が子どもと向き合う時間の増加」に効果を感じている割合が昨年度よりも増加（学校園は27%から30%、市町村教育委員会は18%から21%）していることから、学校における働き方改革にもつながり、より豊かな教育活動が展開されていることがうかがえます。

地域学校協働活動の実施による効果を生み出す要素として、「学校が望むボランティアの確保」や「地推員等と学校との円滑なコミュニケーション」が必要であると感じている学校園、地推員等、市町村教育委員会が多いです。地域学校協働活動を進めていく上では、学校と地域がそれぞれの立場で子どものことを率直に話し合える関係を築くことが大切です。

また、市町村教育委員会では「地域学校協働本部における熟議」、「教職員の理解と協力」、「地域住民組織等の理解と協力」の割合が、学校園と地推員等の割合に比べると特に高く、効果を生み出す要素として重要視していることがうかがえます。それぞれの市町村教育委員会が地域学校協働活動の推進を丁寧に支援することは、効果を実感できる取組の実施だけでなく、地域の教育力の向上につながります。